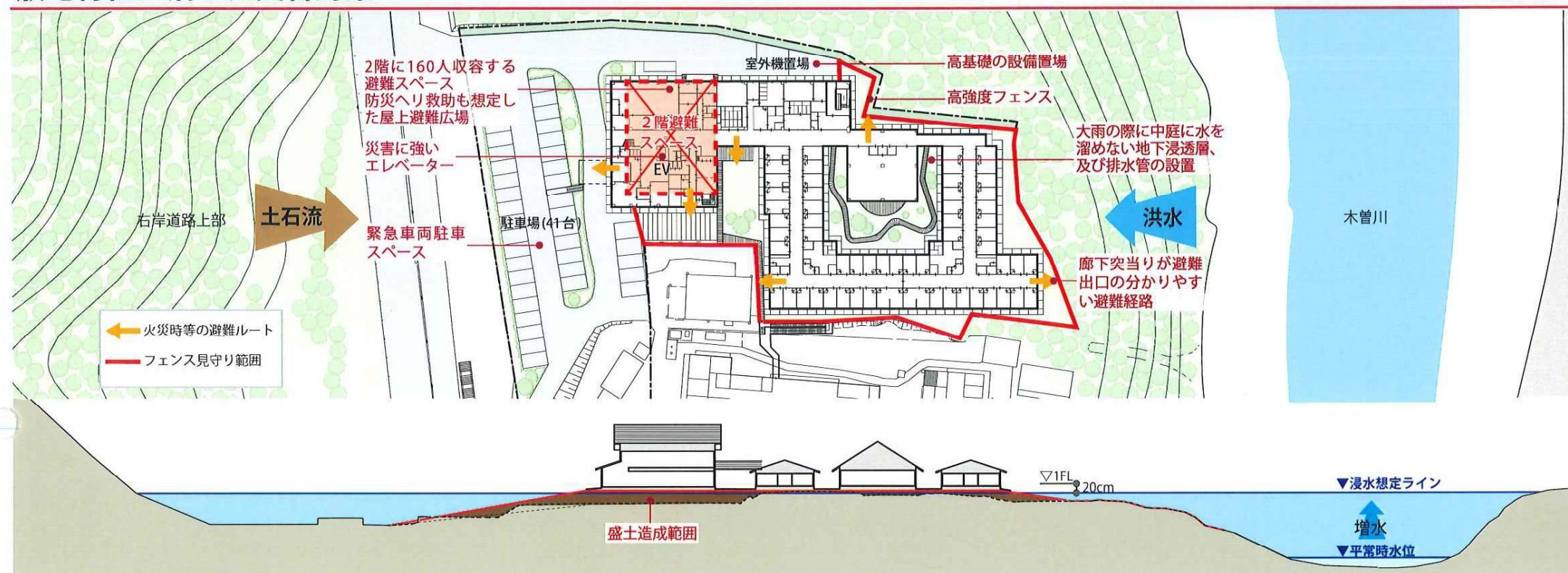


4 一時避難もできる災害に強く安全な施設 敷地特性に沿った災害対策



災害による被害を最小限にする構造

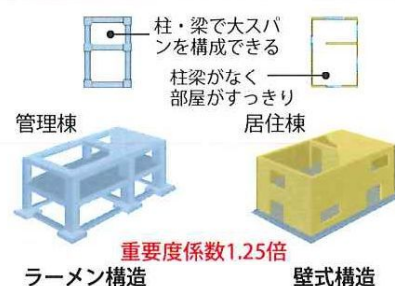
①あらゆる災害に強いRC造でつくる

・本計画地に最も適した災害に強いRC造を採用します。遮音性・防振性にも優れるため老人ホームに適した構造です。

	RC造	鉄骨造	木造
耐水害性	◎	○	×
復旧の早さ	◎	△	×
耐震性	◎	◎	○
火災	◎	◎	×
耐用年数	47年	34年	22年

②大地震後も使用できる耐震構造

・空間の使い方に合わせ、管理棟はラーメン構造、居住棟は壁式構造とします。
・いずれの構造でも重要度係数を1.25とし大地震から生命を守ります。



③浸水ライン+20cmで洪水や土砂災害から建物を守る

・1階床レベルを浸水想定ラインより20cm高く設定します。
・中庭には雨水浸透設備の設置、排水管の整備、管路サイズの増強など、雨水排水能力を高めます。



④火災に強い耐火建築物

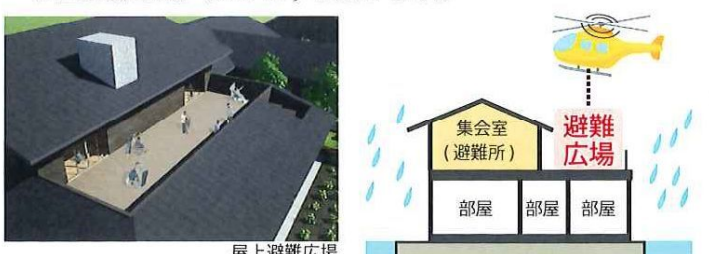
・RC造の採用で火災に強い耐火建築物とすることが可能です。

2つの施設の人命を守る避難計画

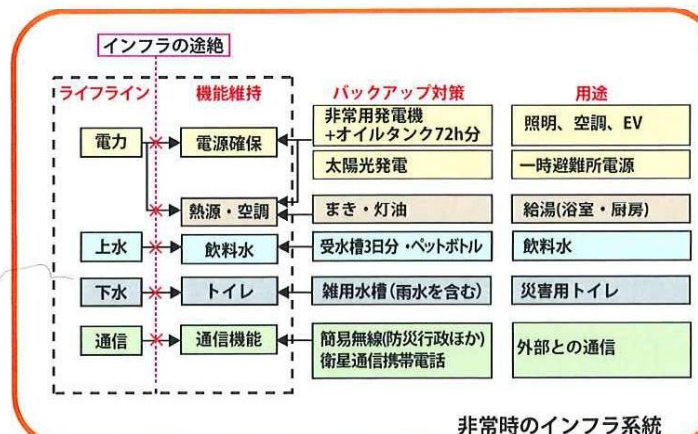
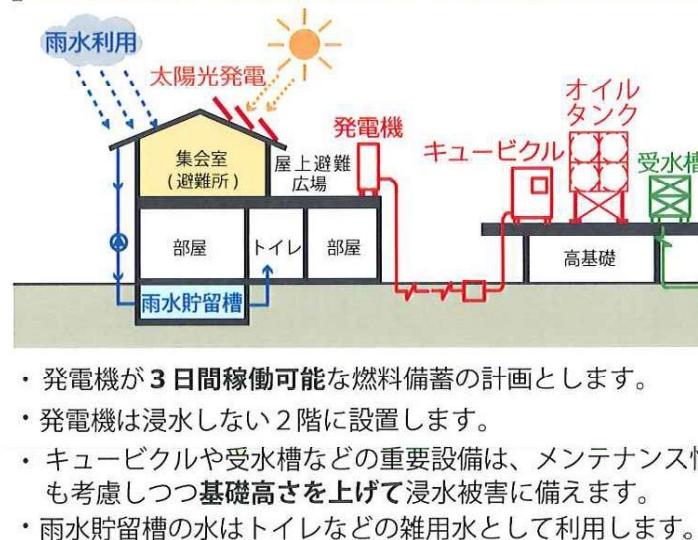
・木曾寮と上松荘の入居者、スタッフ約160名の避難所として、2階に集会室・ホール(290㎡)を設けます。



・豪雨災害時に陸の孤島化した場合、安全な場所に防災ヘリコプターで避難ができるように、2階の集会室に隣接して屋上避難広場(120㎡)を設けます。



一時避難所として必要なインフラ機能



安全安心な施設

日常生活の事故を防ぐ細部の工夫

入居者の日常生活での事故を防ぐための仕上げ・素材。



- ・壁、家具の面取り
- ・建具の開閉制限(徘徊の防止)
- ・ガラスに衝突防止ステッカー
- ・滑りにくい床材の設置
- ・浴槽や脱衣は途切れず連続した手摺
- ・指詰め防止の建具、ソフトクローズ



ウィルスが広がらない空間づくり

感染経路となる「接触」「飛沫」「空気」について建築計画にて対策を施します。

- ・外部から人が入る玄関には手洗い消毒コーナーを設けます。
- ・5室をトイレ付居室とし、感染者を隔離しやすい計画とします。
- ・居室を陰圧に保つ第1種機械換気とし、廊下に汚染空気が流出するのを防ぎます。
- ・コロナ対策として、必要換気量(1人あたり毎時30㎡)を確保する設備とします。
- ・接触による感染を防ぐため、傷に強く耐薬品性、耐汚汚性に優れた抗ウイルスタイプの建具・家具・壁仕上材とします。

